

# 奈良の印刷

しょういん

奈良の印刷 2014 4月号 第116号 (平成26年4月号)

奈良県印刷工業組合  
〒630-8215 奈良市東向中町6  
TEL 0742-26-5474 FAX 0742-95-5321  
<http://www.nara-inko.or.jp/>

(題字筆 池田源太・奈良教育大学名誉教授)



# 近畿地区印刷協議会平成25年度例会



全印工連 島村会長

## ◆理事長会報告

理事長 中西 知

今回は、島村全印工連会長、長島全印工連事務局課長ご臨席の下、大阪工組の当番で吉田理事長が議長役となつて、理事会を進行した。

### 1. 近畿地区協議会次年度の役員及び委員会委員長の改選について

次年度地区協議会長は、かねての申し合わせのとおり、兵庫県工組が担当する。副会長は、大阪工組、京都工組より各1人で2人。監事については、二人で奈良、福井工組より選出することとする。

又、地区協委員長担当工組も従来どおりとし、奈良工組は、環境労務委員会の委員長を担当することに決まった。

### 2. 平成27年度総会の開催担当工組について

平成27年6月、大阪工組担当と決定

### 3. 印刷文化典(京都大会)について

地区協よりの協力支援金について、当初200万円を予定していたが、本年度の決算を見通して、100万円増額して、300万円を支出することに決定。

京都工組より、10月24日(金)に、ウエスティン都ホテル京都で開催するので、各府県工組は、目標人員以上の参加に尽力してくれるよう要請あり。

全印工連文化典登録費は、1人当たり1万円。  
懇親会参加費は、1人当たり1万5千円。

### 4. 各府県情報交換

#### 大阪工組

プリオ(「大阪の印刷」)を組合の機関紙として発行するのではなく、広報紙として発行。

印刷用紙は、日本製紙より提供。今後も、印刷業界の広報に力を入れるとの事。

又、来年(2015年)5月20日に組合創立60周年記念事業を実施の予定。

#### 和歌山工組

官公需対策の活動の具体的成果とし

て、県庁から受注した業者が県外に下請に出すことは禁止となつていく。

#### 兵庫県工組

組合員数は、微減であるが、組合活動に若手後継者の参加が少ない現状を打開すべく努力中とのこと。



近畿地区 作道会長

## ◆経営革新・

### マーケティング委員会

委員長 山内雅俊

#### 〔報告事項〕

### 1. 経営イノベーションの研究推進について

(1) 「印刷産業経営羅針盤・実践ツール」を用いたセミナーコンテンツの提供

①「印刷産業経営羅針盤セミナー」開催実績

- ・印刷産業経営革新のポイント
- ・売上高経営利益率プラス5%の経営ノウハウ

・経営革新のための3つの視点  
平成25年度は徳島工組で1回開催さ

れました。

② 「印刷産業経営羅針盤」実践ツール使いこなしセミナー開催実績

・財務三表(損益計算書、貸借対照表、資金計画表)について解説とシミュレーション手順を解説

・表の内容を理解した上で、参加者が受講後にダウンロード出来るExcelシミュレーションシート(利益計画検討表、損益計算書、貸借対照表、資

理事長会報告	2
経営革新・マーケティング委員会	2~3
環境・労務委員会	3~4
組織活性委員会	4~5
教育・研修委員会	5~6
官公需対策委員会	6
組合協賛企業広告	7~8

もくじ

Contents

金計画表、案件別損益把握シート)について使い方を解説。平成25年度は東京工組、香川工組の2工組で開催されました。

(2)「勝ち残り合宿ゼミ」の開催支援について

東日本会場(参加者…12名)、西日本会場(参加者…11名)と言った状況で、1泊による参加人数の問題、何処までを若手経営者とするのが今後の課題。

## 2. マーケット創造(新市場創造)の研究について

第1回 印刷通販は敵か味方か?

第2回 紙を積むより価値を積み!

一口コミサイトを使った拡印刷事業  
第3回 ITソリューションセミナー  
将来の企業システムのITトレンドとは!?

第4回 トータルコミュニケーションカンパニーが手掛ける地域活性化/地域メディア×データで図る地域力向上

マーケット創造部会の開催するセミナーは、東京印刷工業組合の事業に各地区協議会の経営革新・マーケティング委員会委員長が参加するという形態である。セミナーの映像配信の通知メールが届いており、議事録はアップロードされているので参考

にして頂きたい。

## 3. 「平成25年度印刷経営動向実態調査」の回収結果について

従来の用紙記入形式からネット配信、ネットで回収になりました。2月3日現在、5345社中571社から回収できております。回収率10.7%はデータとして精度が十分ではありません。奈良県印刷工業組合は49社中6社から回収、12.2%の状況です。この様な経営実態データは他の業界では有りません。経済産業省が注目しているデータでもあり、多数の回答を期待します。

## ◆環境・労務委員会

委員長 島岡 亮博

### 〔報告事項〕

#### 1. 「印刷業2013年の環境対策セミナー」の開催状況について

これは胆管がん問題の原因とされる化学物質の取り扱いなど事業場における労働衛生対策に重点を置いたセミナー。昨年は9月に宮城工組が開催した。

セミナーでは、印刷会社を取り組むべき最新の環境対策や労働衛生対策について解説し、工組のリクエストに応じて、セミナーのタイトルや内容もオーダーメイド可能であるの

で、是非多くの工組に開催して欲しい。

## 2. 第13回印刷産業環境優良工場表彰の申請協力について

昨年の第12回印刷産業環境優良工場表彰は、全印工連では8工場が受賞した。2月下旬〜3月上旬には、第13回の印刷産業環境優良工場表彰の応募要領や申請書類を、全印工連から各工組へメール添付で配信するので、組合員への周知をお願いしたい。殆どの会社が新築か、築間もない会社が申請していましたが、会社の健康診断と思つて是非申請して取得して下さいと委員長より言葉があった。

## 3. 日印産連「労働安全衛生協議会」の活動について

胆管がん問題について、厚生労働省の指導のもと、事業者向けに啓発パンフレットを作成した。再発防止に向けて周知徹底に取り組んできた。

昨年3月には、大阪の校正印刷会社で胆管がんを発症した16名が初めて胆管がんが労災認定され、昨年末には印刷業務の胆管がんの労災認定件数は計26名になった。

昨年10月には胆管がんを発症する原因物質として洗浄剤に含まれるジクロロプロパンの規制が強化され、

印刷業界ではGP認定洗浄剤など有害性の低い代替品を使用するよう周知を図った。

そのような中、昨年9月、厚労省に影響のある学者により「オフセット印刷工程」自体に発がん性があるとの記事が産業衛生学会の雑誌に発表されたため、日印産連は産業衛生学会に抗議し、オフセット印刷工程に発がん性がないことを証明するため、全印工連の組合員5社をモニターにして、洗浄剤の使用量、使用頻度、洗浄作業方法など作業環境測定を行い、検証を行った。

これまでの測定結果からは、5社とも1日の洗浄回数は少なく、作業環境測定もすべて低い濃度を示すなど、影響があまりないレベルであったが、密閉した作業場では洗浄回数が増えれば洗浄作業での有機溶剤の発散が増えて濃度も上がるため、全体換気や局所排気で新鮮な空気を作業場に取り込んで低濃度のうちに工場外へ排出することが重要であることが再確認した。また、印刷機械メーカーの設定が、大量の洗浄剤を使用する設計になっているため、少量の洗浄剤でも洗浄できる仕組みにするようメーカーに要望していくことが重要であることも確認した。

現在、日印産連において、本年4月末の完成に向けて測定結果の報告書をまとめており、報告書は日印産連ホームページにもPDFで掲載するので、オフセット印刷工程自体に発がん性がないこと証明する資料として、厚生労働省に働きかけていく予定である。

各企業は環境測定をしてデータを残しておく。作業日報等にも洗浄剤の使用量、使用頻度、作業方法などデータを残しておくことが大切。

#### 4. GP認定工場の募集及びインターネットを活用したISO14001取得支援事業の参加募集について

GP認定工場は、現在、印刷業全体で305工場であり、そのうち全印工連の組合員は165工場である。GP認定は、環境に配慮した事業活動を行う上で参考になり、環境や人ややさしい印刷会社であることをアピールすることができるので挑戦して欲しい。また、GP認定よりもワンランク上のISO14001を目指す場合は、全印工連ではインターネットを使ったISO14001の取得管理支援を行っており、全印工連のシステム以外でISO14001を取得した企業も、ISOの審査機関を移行することで、システムを利用

できるので、資料請求や質問などは全印工連事務局に問合せ願いたい。

#### 5. 平成25年度地域別最低賃金の改定について

厚生労働省より、平成25年度地域別最低賃金の改定状況が発表された。すべての都道府県で11円〜22円の範囲で最低賃金の改訂が行われ、全国平均は764円であり、昨年より15円上回った。4月に給与改定する会社も多いと思うが、注意が必要なので周知をお願いしたい。

#### 【意見情報交換】

**大阪工組** 大阪県工組では理事長が1件1件企業を訪問して胆管ガンの取り組みについて周知するが、零細企業にはなかなか聞いてもらえない。

**大阪工組** 特別健康診断するところが増えた消防署が倉庫を見に来たり、労働基準監督署が何件かに来たと聞いている。

**福井工組** 1年に1回はメンテナンスを兼ねて必ずメーカーに講習を依頼。

2月に環境対策セミナーとして工場内の環境測定の仕方と有機溶剤の扱い方のセミナーを実施。

6月には有機溶剤取り扱いの説明会も実施。これには組合員以外も参加。

**和歌山工組** 勉強会は開催して周知はした。厚生労働省に有害会社といわれないように今後もしっかり勉強して意識を高めたい。

**滋賀工組** 組合員が少ないので近県のセミナーは是非声を掛けて下さい。

**京都工組** 昨年、労働安全セミナーを実施。日印産連の資料を周知。特別健康診断の実施。

**兵庫工組** 労働局の中防災より講師に来てもらい神戸地区と姫路地区に分けて勉強会を実施。特別健診も実施。

**奈良工組** いつもセミナーでは大阪・京都工組のお世話になってます。奈良では労働安全セミナーとして断裁機安全特別セミナーを実施。41名が参加。胆管ガンについては話にも出ない。

### ◆組織活性化委員会

委員長 山内雅俊

#### 1. 各共済制度の加入状況について

##### ○生命共済制度

死亡・高度障害の他、不慮の事故による障害や入院について、24時間保障する共済制度です。新規加入は70歳まで加入でき、75歳まで継続できます。

全国1,655社、18,103人(前

年比-3%) (奈良県35社、324人)

##### ○せつび共済

印刷設備をはじめとする機械の設備の事故による損害を補償する共済制度です。オプションで、風水害、地震災害による損害のほか、コンピュータのプログラム・ソフトウェア・データ等の被害も補償されます。

全国435社(前年比-4%) (奈良県4社)

##### ○医療共済制度

医療費の自己負担増大に対応するため、“入院から退院まで補償”をコンセプトに、入院保険金、手術保険金、重度入院一時金などの基本補償のほか、加入プランによっては葬祭費用保険金や退院後通院保険金などの補償や加入者向けのサービスも用意しています。

全国231人(前年比+1%) (奈良県3人)

##### ○災害補償共済制度

就業中の災害に対する補償金のお支払いによる負担から組合員企業を守るための共済です。

全国労災補償コース128社、4,450人(前年比-8%) 傷害補償コース24社308人(前年比±0%) (奈良県0社、0人)

○経営者退職功労金制度

経営者・役員・幹部社員のため、企業が退職功労金として資金を積み立てるための制度です。

全国 116社、219人（前年比11%）（奈良県3社、5人）

2. 生命共済制度の更新処理について

加入や脱退、契約の訂正や各種変更は、下記日程に沿って運営されています。書類提出日が締切期限を過ぎますと翌月取り扱い分となります。早めに提出ください。

加入・保険金変更	毎月 5日締切	翌々月1日実行	翌々月12日口座引落
脱退	毎月20日締切	翌々月1日実行	翌々月12日口座引落
訂正・変更 口座変更	毎月20日締切 毎月20日締切	翌月1日実行	翌々月12日口座引落

3. 医療共済制度の改正について

2014年7月より医療・がん共済となり、がん補償の募集が始まります。新パンフレットが出来しだい発送いたします。加入宜しくお願ひ致します。

4. 共済キャンペーンの推進について

過去3年近畿地区は全て重点工組となっていました。今年度は大阪

工組と兵庫工組に決定しました。

◆教育・研修委員会

委員長 吉岡義幸

【報告事項】

1. 企業改革のための情報の提供について

(1) “見える化”から始める収益改善セミナー【概論編】

開催時間1～4時間、受講対象者：経営者、幹部、管理職、一般職

内容：厳しい価格競争に晒されている印刷業界では「コスト＋利益＝売上」とい図式は通用しない。そこで求められるのが、受注一品単位きめ細かな収益管理。このセミナーでは“見える化”を、いち早く実践している企業の代表者に自社の取り組みとそこに至る経緯、企業理念を語っていただくと共に、適正競争に向けた業界への提言を行う。

平成25年度は、6工組で7回開催された。

山口（2回）、秋田、広島、京都、神奈川、佐賀の各工組。

(2) “ゼロ”から始める見える化セミナー【実践編】

受注一品別生産の印刷業では“見える化”を実現しづらいのも事実ですが、今回実証実験としてゼロから取

り組んだ3社の担当者から、何から初め、どのような障害があったか、そして事前と事後でどのような変化、効果が得られたかセッションを行う。

平成25年度は、1地区2工組で3回開催された。

東京、愛知、秋田の各工組。

2. 全印工連特別ライセンスポログラム事業の推進について

(1) 参加状況（更新および新規参加）全国486社、プレミアム、スタンダード、CC（クラウド）含め合計4,828本うち25年度補正増加数は全国で327本。

3. 制度教育事業の推進状況について

(1) 印刷営業講座・印刷営業士認定試験（2地区3工組実施）

（試験合格者：宮城43名、東京21名、岩手41名）

(2) 印刷生産技術講座・印刷生産士認定試験（1地区1工組実施）

（東京2/20）

この事業について一般印刷会社ではオフセット印刷そのものが斜陽化していく中で今後どういった進め方をするのか一考が必要との意見が出された。

4. Webポータルシステム研究会の事業推進について

校正のやり取りがコストダウンの障害になっているが、これに対してWebを活用したソリューションがプリプレスベンダー各社から提案されている。

そこで、印刷業界としてWeb校正の仕組みを広く普及するために全印工連教育・研修委員会では「全印工連Webポータルシステム研究会」を立ち上げた。今年度は研究成果のまとめを部会報告と共に東京、大阪、愛知にてセミナー形式で事例発表会を開催する。

【事例発表会開催日時】

大阪会場／平成26年3月18日（火）

10:00～12:00

場所：大阪印刷会館4階会議室

〒5340027 大阪市都島区中野町4-4-2

TEL (06) 63533035

FAX (06) 63522360

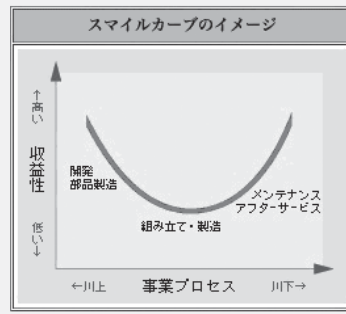
【意見情報交換】

・全印工連組合平均社員数が20名弱なので、これらの規模の企業が今後成り立っていくのにどのような教育が必要か検討していただきたい。

・ある印刷工組の中には4色機が増えない、あるいは、減少傾向が顕著になってきているが、印刷生産技術講座がどこまで必要か検討が必要。また生産技術講座の指導者も高

齢化により減少している。今後の対策も必要。

・製本業者とのタイアップにより利益確保がまだ容易な部分の拡大を図ることが賢明ではないだろうか。(スマイル曲線)



スマイル曲線とは

横浜で開催された PrintNext2012 のキャノンブースで説明をしていた「スマイルカーブ」。もともと製造業における付加価値や収益性を説明するために作られたグラフだが、グラフの曲線が「笑顔のスマイル」に似ていることからスマイルカーブと言われるらしい。

これを印刷業に当てはめると、

- ・収益性が高い) 企画やデザインなど前工程 (プリプレス)
- ・収益性が低い) 紙への印刷など印刷工程 (プレス工程)
- ・収益性が高い) 製本工程や配送口

ジステック、電子化の活用など(ポストプレス)

ということになる。収益性が低い印刷へのインベスト(投資)を行うよりは、収益性が高い分野に選択と集中を行い、効率のよい投資を行うことが得策である。

この収益性が高い分野の投資は人材を必要とする。高額な設備投資が得意な印刷業も、人材育成には得意な会社が多い。そこにギャップとチャンスが存在する。

(priprito.blogspot.com/2012/02/blog\_post\_05.html より抜粋)

◆官公需対策委員会

委員長 後藤義裕

まずは、各工組、初参加の方もおられるので各自自己紹介。

【報告事項】

県発注印刷データの取扱とその2次利用に関するアンケートを各工組を通じて実施するので協力要請あり。アンケート結果を取りまとめ情報提供すると共に今後の対応を図るためと。

1. 官公需対策具体的な活動について  
活動している2工組、活動準備中2工組、活動していない3工組と回答あり。

2. 著作権セミナー実施について  
開催した1工組、開催予定1工組、開催未定5工組と回答あり。

3. 各工組の取組発表  
和歌山工組

今年1月に県へ「県内印刷業者発注 十下請け業者も県内業者を利用する」という要望を提出。この内容を受けて県側は、物件毎に実態に即しているか検証している。

【愛知県は、昨年9月要望に対し11月に県から、入札参加資格は設備を保有する県内業者としている。】

福井工組

県議会での最低制限価格制度は承認されている。

県に対して要望中であるが、1年前と同様に進展なし。

京都工組

7月は府に、8月は市に最低制限価格制度の陳情にうかがったが進んでいない。

見積の手間がかかることと、スキルに問題があると解答があり、組合も協力するということ返事をしていく。

大阪工組

今まで全く活動していなかったが、昨年東大阪支部より要望があり、最低制限価格制度と請負そして著作権

の3点セットを府議会議員同席で1月に知事に陳情。

兵庫工組

2年前に著作権の要望は県に通っているが神戸市は未だ交渉中。

奈良工組

昨年11月に「最低制限価格制度、請負、著作権、県内業者優先等」を中小企業団体中央会の協力と県産業振興課の後押しをいただいて会計局に要望書を提出。回答待ち。

意見情報交換

・著作権に対する官公庁の認識が甘いが、理論的に説明できる営業を育てるために各工組著作権セミナーを行うべき。

・官公庁にコンプライアンス機能はあるのか。全印工連のCSR審査を受けていただきたい。

・各工組取組方も様々であるが、要望する点はほぼ同じ。各工組連携して、情報収集と成功事例を積み上げよう。

・近協の1工組が風穴を明けていたでいて、突破口にしたい。

・結論として、「役所の方々を動かすのは難しい」という内容でした。

奈良県印刷工業組合通常総会

5月26日(月) 開催予定

私たち第一生命は、お客さまの大切な人生、大切な人、大切な未来のために、保険というかたちある「安心」をお届けし、その「安心の絆」を確かなものにしていくことを願っています。私たちは、これからも、お客さまの「一生涯のパートナー」として、「生涯設計」によって、かたちある「安心」をつくり、届け、広めてまいります。

## 安心の絆

生涯設計 でつくる・届ける・広める

### 第一生命保険株式会社

**奈良支社**  
〒630-8224  
奈良県奈良市角振町18 奈良第一生命ビル2F  
Tel 0742-26-2821(代)  
受付時間：平日午前9時～午後5時  
第一生命ホームページ  
<http://www.dai-ichi-life.co.jp/>



## H-UV Innovative Curing System

### ハイブリッドUVシステム

瞬時乾燥とパウダーレスが短納期と高品質をもたらす  
革新的な乾燥システムが商業印刷を変えました。

M a d e i n J a p a n w i t h s t a t e - o f - t h e - a r t t e c h n o l o g i e s

株式会社 小森コーポレーション 大阪支社 〒536-0016 大阪府城東区蒲生2-11-3 TEL 06-6939-3051~4

[www.komori.com](http://www.komori.com)

## なぜ、人材派遣はモトヤ?

それは、印刷関連業務に特化した人材派遣・紹介を展開しているのは、モトヤだけだから...



明日の印刷業界を考える

固定費の適正化は、印刷業にとって避けることのできない課題となってきました。

モトヤでは

「印刷のプロを養成し、必要ときに、

必要な期間だけ派遣する」

印刷に特化した人材派遣事業を首都圏と阪神圏で展開（派遣事業許可番号 般 27-030254 / 紹介事業許可番号 27-ユ-030174）。

特に今、経験豊かな中高年齢層の印刷オペレータや印刷進行管理の経験者の皆様の人材登録とお仕事の紹介を積極的に行なっています。

株式会社 **モトヤ** 大阪 〒542-0081 大阪府中央区南船場 1-10-25 ☎(06)6261-1931(代)  
東京 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-5-5 ☎(03)3523-8711(代)

■お問合せ モトヤ人材派遣部 大阪 ☎(06)6261-1941 / 東京 ☎(03)3523-8719

## 印刷組合の 医療共済制度

全日本印刷工業組合連合会

〈印刷組合の医療共済は〉 補償内容 シンプルでワイドな補償!!

### 病 気・ケガ

ともに1日目の入院から補償

### スケールメリットを活かした 割安な掛金

一日あたり約40円の掛金で入院1日当たり5,000円の給付

35歳 プラン②の場合

### 加入時の 医師の診査は不要

(告知のみ)

（基本補償）

#### 入院保険金

疾病・傷害により入院した場合に入院保険金をお支払いいたします  
支払額は入院保険金日額×入院日数(1日目の入院からお支払いいたします)  
1入院の支払限度日数は120日

#### 手術保険金

入院して所定の手術を受けた場合に手術保険金をお支払いいたします  
支払額は手術の種類により入院保険金日額の10倍・20倍・40倍

#### 重度入院一時金

(三大疾病のみ担保)

三大疾病(がん・脳卒中・急性心筋梗塞)で入院した場合に一時金をお支払いいたします  
支払額は入院保険金日額の100倍  
加入日から90日以内にがんと診断確定された場合は対象外

（プランによる補償）

#### 葬祭費用保険金

(プラン④⑤⑥のみ)

疾病・傷害により死亡し、親族が葬祭費用を負担した場合、300万円を限度として葬祭費用保険金をお支払いいたします

#### 退院後通院保険金

(プラン⑥のみ)

入院保険金が支払われる入院の後、退院後180日以内に通院した場合、1回の入院あたり90日分を限度として通院保険金をお支払いいたします

**加入年齢** 新規加入は満15歳から満70歳まで(継続加入は満80歳まで)

**加入資格** 都道府県印刷工業組合組合員企業の役員・従業員とその配偶者・子供・両親および同居の祖父母孫・その他親族

※但し、上記該当企業が組合を脱退されたり、役員・従業員がその企業を退職された場合、関係する加入者は当制度を退会していただくこととなります。

FUJIFILM



iから始まる、真の革新。

もっとあなたの近くへ、もっとニーズの奥深くへ。新たな付加価値を創り出すために—。  
富士フイルム グローバル グラフィックシステムズは、「クロスメディアのソリューションデザイナーとして、  
高い志を持ち、お客さまと共に大きな変革を実現すること」を約束します。

「i」とは、「interactive」「interface」「innovation」「integrated」「international」を象徴するもの。  
単なる製品供給だけではありません。  
品質向上のための工程改善やビジネス拡大のためのコンサルティング、  
さらには環境対応支援までも含めた、対話型のソリューション「i-Communication」。  
この行動指針により私たちは、業界の皆さまの付加価値創造を、強力に大局的にサポートしてまいります。

富士フイルム グローバル グラフィックシステムズ株式会社

大阪支社 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町四丁目1番3号 大阪センタービル 06(4704)8401 ホームページ <http://ffgs.fujifilm.co.jp>

リョービMHI

グラフィックテクノロジー株式会社

お客様と共に。

リョービ株式会社と三菱重工印刷紙工機械株式会社は、  
オフセット枚葉印刷機分野の事業を統合し、  
新会社となって印刷機器業界を革新します。

リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社 西日本支社 〒569-1135 大阪府高槻市今城町24-12 TEL 072-685-1171 <http://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>

30年以上のロングランを誇る人気の秘密は、シンプルかつ実用性に優れていること。

ポケット付きカレンダー

メモルダール

社名お名入れ受付中!!



Rmitpで企業コミュニケーションをサポートします。

Rmitp  
リミップ



リミップ

検索

<http://service.imura.co.jp/>

パソコンから



株式会社 イムラ封筒

関西営業所 大阪市中央区内本町三丁目1-13 〒540-0026 ☎(06) 6910-2533(代)  
工場・事業所 奈良新庄・相模原・筑波・御所・都城・山口美和・昭島・平野

## グリーンプリンティング (GP) 工場認定のご案内

— 第32回認定募集 (2014年5月中旬締切) —

(一社)日本印刷産業連合会(以下、日印産連)では、印刷業界の環境自主基準である「日印産連「各種印刷サービス」グリーン基準」に準拠した「グリーンプリンティング認定(以下、GP認定)」を行っています。GP認定工場は、日印産連グリーン基準(工程及び事業者の取組)を達成した工場に対し客観的評価による認定を行い、環境優良工場としてクライアント等社会に対し、幅広くPRすることができますので、ご案内いたします。

<グリーンプリンティング認定登録に関するお問い合わせ> 日印産連グリーンプリンティング認定事務局 東京都中央区新富 1-16-8 日本印刷会館8階  
TEL 03-3553-6051 e-mail [gp-nintei@jfpj.or.jp](mailto:gp-nintei@jfpj.or.jp) \*電話やメールでの個別相談(無料)可

## 全印工連CSR認定のご案内

— 第5回ワンスター認定募集 (2014年4月30日締切) —

QCD(品質・コスト・納期)の競争から企業価値の競争へ。企業としての信頼性や社会的責任が問われる中、全日本印刷工業組合連合会(以下、全印工連)では、CSR(企業の社会的責任)研究の第一人者である横浜市立大学の影山教授監修のもと中小印刷業 CSR 規格を策定し、地域に密着したCSRに取り組み、顧客・社会から必要とされるパートナーとして成長する企業のCSR認定に取り組んでいます。全印工連CSR認定の標準認定であるワンスター認定の第5回認定募集を行いますので、これからCSRに取り組み方も既に取り組みされている方も、ご利用ください。ご案内申し上げます。

<全印工連CSR認定制度に関するお問い合わせ> 全印工連CSR認定事務局 東京都中央区新富 1-16-8 日本印刷会館4階

TEL 03-3552-4571 e-mail [csr@aj-pia.or.jp](mailto:csr@aj-pia.or.jp) 詳細はホームページをご覧ください [全印工連CSR](#)

## CSR認定制度のワンスター認定おめでとうございます。

### 岡村印刷工業株式会社

全印工連CSR認定制度のワンスター認定について、去る3月17日(月)に外部の有識者で構成する

第4回全印工連CSR認定委員会を開催し、横浜市立大学CSRセンターの審査報告をもとに、

厳正な判定を行った結果、第4回ワンスター認定企業として認定登録された

\*全印工連CSR認定制度は、YAHOOニュース(右記URL)でも取り上げられましたので、ご紹介いたします。<http://zasshi.news.yahoo.co.jp/article?a=20130625-00000305-alterna-bus-all>